

市川市議会では、年4回の各定例会で、交渉会派(所属議員3人以上の会派)ごとに市長提出議案等その他市政全般について問う代表質問を行います。6・9・12月定例会における各会派の発言時間は、原則3日間の総会議時間を、会派数及び会派の所属人数に応じて割り振って決定します。質問は総括質問者が行う他、補足質問者を立てることができます。ここでは、会派が指定した項目の質問・答弁を要約して掲載しました。
 ※6月定例会の代表質問は6月3日に通告を締め切り、6月7日から3日間の日程で行いました。

代表質問



南行徳地域共生センター内の交流・休憩スペース

問 地域の高齢者から、いつでも集まって話ができる場所がほしいと相談されることが多くある。高齢者や子どもといった、年齢や属性に応じた地域の居場所づくりが必要と考えるが、現

地域の居場所づくり

答 状と今後の取り組みを問う。本市で実施している、高齢者の余暇活動のための講座であるシニアカレッジについては、高齢者の相談窓口である高齢者サポートセンター等の関係機関と連携し、令和6年度より、直接声かけなどを行うプッシュ型での参加を促している。また、同年度に開設した南

北千葉道路の整備状況

問 外環道路から成田国際空港までをつなぐ北千葉道路のうち、堀之内から鎌ヶ谷市初富までの約9km区間が整備されることに伴い、大町地域の梨農家などから、農地の分断により、移動時間が増加し、営農が困難に

なるといった声が届いている。そこで、本道路の整備状況と本市の対応を問う。
答 北千葉道路は、令和3年に堀之内から大町までの区間が事業化されたが、大町から鎌ヶ谷市初富までの区間は事業化されておらず、一般国道464号北千葉道路建設促進期成同盟会等において、国による早期事業化を要望している。市では、未事業化区間の事業実施に向けた環境を整えるため、地籍調査の実施を予定している。事業化区間は国が、未事業化区間は県が窓口となるため、本市に寄せられた要望等は国及び県に伝え、市との関係部署との情報共有を図っている。



常夜灯公園

問 先日、市民から、常夜灯公園は喫煙者が多く、子どもを安心して遊ばせるこ

公園の禁煙化

とができないとの相談があった。他の自治体では駅前広場などに喫煙所を設置し、公園は禁煙としている例もある。公園の禁煙化につき、現状及び市の見解を問う。
答 子どもなどの受動喫煙を心配する市民から、公園を禁煙にしてほしいなどの要望が多く寄せられたため、本市はまず、公園のうち児童遊園地を令和2年度に全面禁煙とした。その後、その他市内の公園内に設置されていた灰皿を撤去したほか、市民などから喫煙の連絡があった公園には、喫煙時のマナーに関する注意看板を設置するなどの注意喚起を行っている。市川市公共施設における受動喫煙防止対策(指針)では、多くの人が利用する市内の公共施設においては、敷地内を全面禁煙としていることから、将来的には全ての公園内での禁煙化を考えている。



塩浜三番瀬公園

問 地元の漁業者から、三番瀬のアサリなどが激減しており、漁場として衰えを感じるとの声が聞こえる中、塩浜2丁目の干潟整備は、覆砂により干潟の再生を行うことで、漁場としての再生につながるばかりか、市民が気軽に海辺にアクセスできるようにするメリットもある事業だと聞く。近隣

塩浜2丁目干潟整備

答 三番瀬は市川市の財産

住民は塩浜地区が海に親しめるにぎわいのある場所となることを心待ちにしているが、最近一部の環境団体より、この海域には多くの生物が生息しているため、再生という名で自然破壊することは許さないと本事業に反対する声が上がっているとの報道が出ている。当該報道を受け、塩浜地区における干潟再生の施策が変わることはないか、理由も含め、改めて考えを問う。

であるため、現在残っている三番瀬の海をしっかりと守っていくという考えのもと

と、今まで自然を破壊してきた人類が手を加えることにより、自然を再生してい

く。干潟の再生に関しては、ここで自然の再生を行い、専門家である漁師や漁業協同組合の人々と、漁場の再生ということも含めて前に進めていきたいと考えている。このように覆砂を行う

行徳支所におけるDX推進

問 行徳支所の現状の機能

では、支所だけで手続きを完結できない場合があり、その時は本庁舎へ行くこととなるが、交通の便が悪い。行徳支所においてDXを推

中町 けい
にしむた勲

つちや正順
石崎ひでゆき

市民クラブ



進すれば機能が充実し、市民サービスを向上できると考えるが、市の見解を問う。
答 DXの推進により、行徳支所における市民サービスは向上するものと考えている。例えば、本庁舎と行徳支所を結ぶ遠隔窓口を設置することで、行徳地域の住民が本庁舎まで足を運ばなくても、オンラインで様々な相談や手続きが可能となる。遠隔窓口は多くの自治体で導入が進んでおり、本市でも遠隔窓口を導入することで、行徳地域に限らず本庁舎から離れた場所に住んでいる市民の利便性や行政サービスの質の向上に大きく寄与するものと考えている。

丸金ゆきこ
富家 薫

野口じゅん

チームいちかわ

